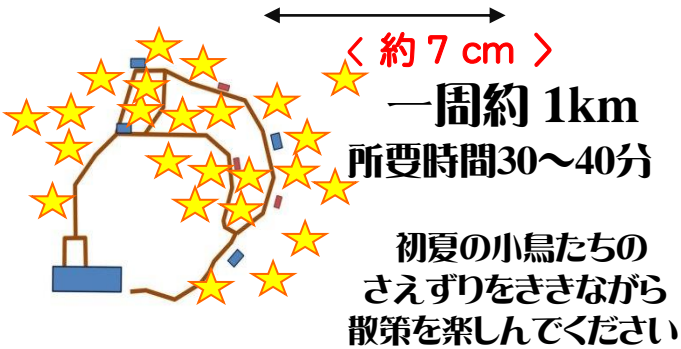


サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

# サロベツ花だより

No.8

今のおすすめは エゾカンゾウ です



【発見難易度】黄色の花です

★☆☆☆☆ ススキノキ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



中 (50~70cm程度)



手のひらくらい

【漢字：蝦夷萱草】

一つの花は一日しか咲きませんが、次々と開花するので数日間楽しめます。本州では「ニッコウキスゲ」と呼ばれどちらも同じ花ですが、北日本の厳しい環境に適応して、形態が変化しています。エゾシカはこの蕾が好物で、食べられた跡も見られます。

カキツバタ アヤメ科 咲いています



紫色に白くすっとした模様が入り、水辺の似合う風情のある花です。古くから万葉集など和歌に詠まれ、尾形光琳の「燕子花図」に描かれるなど、親しまれてきました。

ツルコケモモ ツツジ科 咲いています



サロベツの高層湿原を代表する花の1つで、とても小さいですが草ではなくこれでも常緑の木です。カタクリのような反り返った小さな花が咲き、秋には赤い実(クランベリー)がなります。

ハナニガナ キク科 咲いています



細い茎の上に、小さく可愛い2cm程の黄色い花を数個咲かせます。茎や葉を切ると、「苦菜」の名の通り驚くほど苦い汁が出るそうです。デッキ1~2の間で見られます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ  
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3232 FAX 0162-82-1009

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!